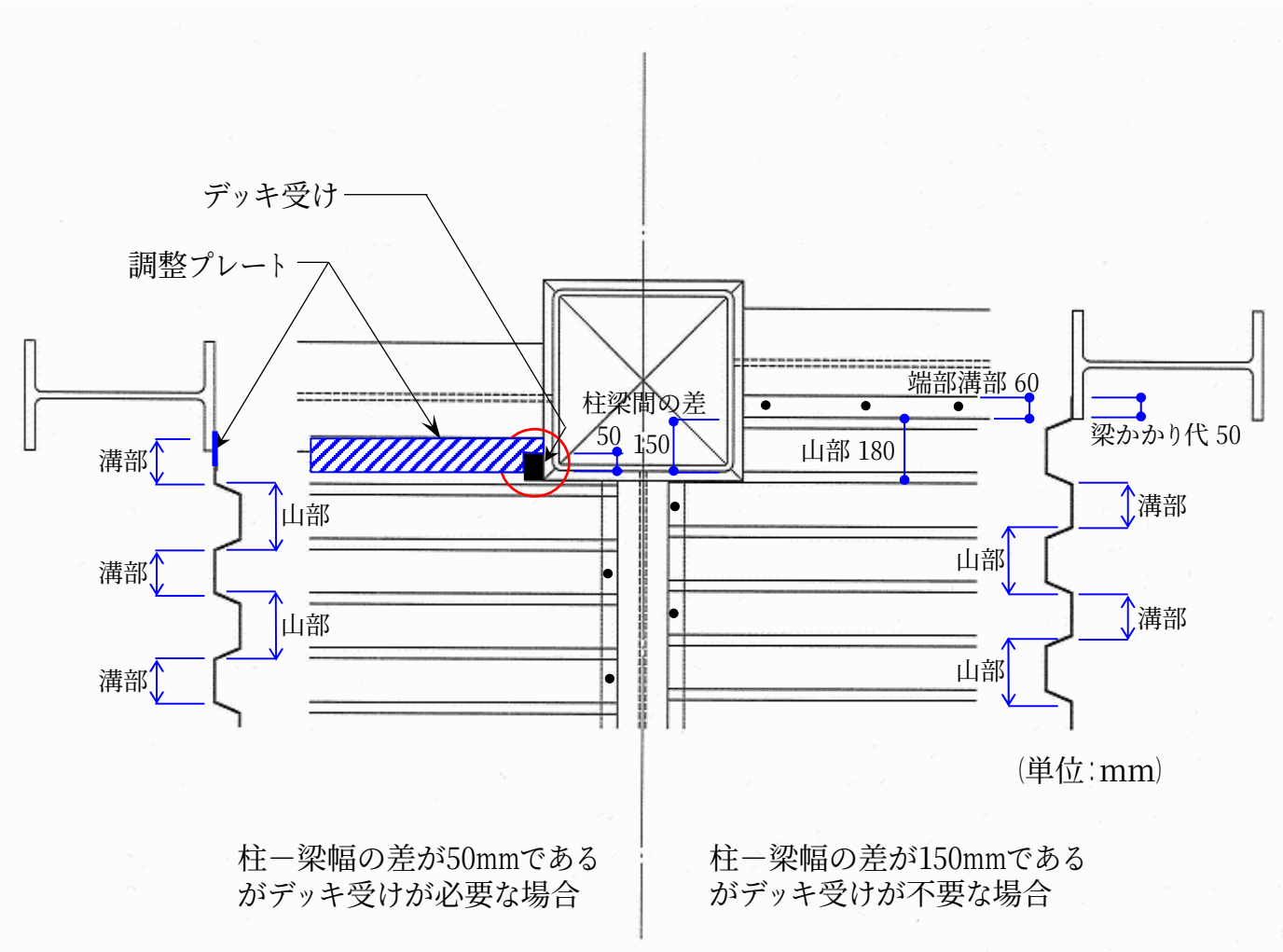
鉄骨工事 Q&A	デッキ・スタッド	デッキ受け	制定	2011年7月1日
			改訂	2016年7月1日

Q. 柱周りの納まりで柱幅と梁幅の差が少ない場合にデッキ受けは必要か？

A.
デッキプレート溝部（フラットな谷部）が柱周りにかかる場合はデッキ受けが必要となります。端部の納まりはデッキプレートの割付けにより決まるので、ＦＢ等の受け材が不要な最小寸法はないと考えてください。下図右側ように、デッキプレートの割付けが梁からスタートして梁に50mm載っている場合、端部の溝部が60mm、山部が180mmですので、柱-梁間の差（150mm）の部分に溝部がないので受け材は不要です。反対に、下図左側のように梁際に調整板（薄くてデッキ床荷重を支持できない）を用いると、柱-梁間の差が50mmでもデッキの溝部がこの範囲に存在するので、端部のデッキ受けが必要となります。
このように、デッキプレート溝部の位置によって受け材の有無を判断します。